

月刊

通巻

643

2026年4月

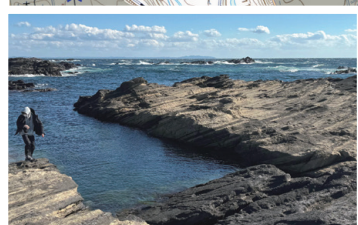
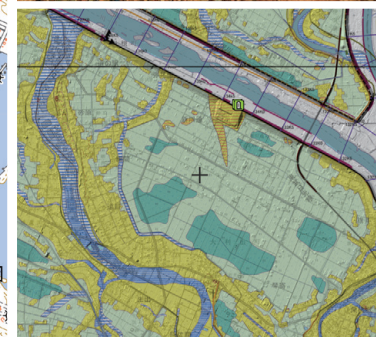
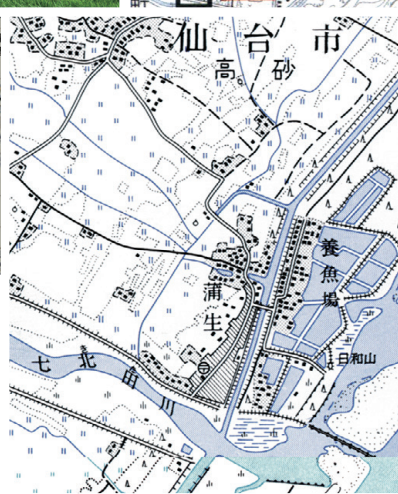
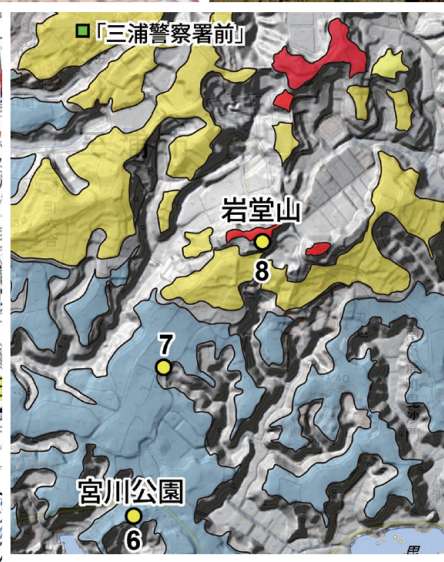
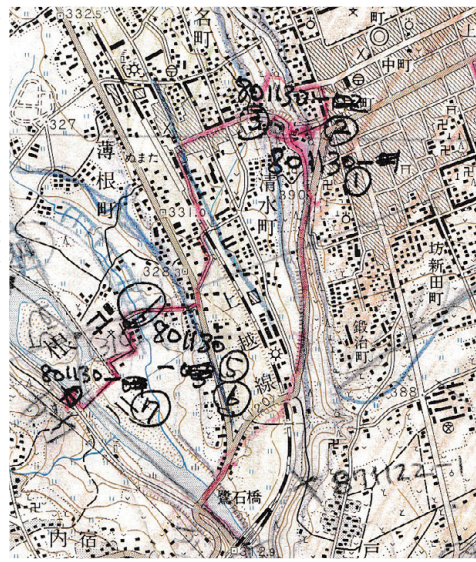


地図と学ぶ

# 地図中心

総特集

## 地図を手に 巡検に行こう！





巡検と地図	久保 純子	3
仙台の街の立地と海岸環境	目代 邦康	4
利根川中流をたずねる	久保 純子・三橋 さゆり	8
武蔵野台地西部巡検－狭山丘陵・武蔵野台地・立川断層を巡る地形と地質－	鈴木 毅彦	12
ジオ・三宅島の魅力の磨き上げ	谷口 榮	16
三浦半島で「隆起の痕跡」を歩く	穴倉 正展	20
八ヶ岳山麓 車窓巡検 中央本線から小海線へ	清水 長正	24
水の調べに誘われて－琵琶湖疏水と南禅寺別邸群－	恵谷 浩子	28
『出雲国風土記』を読む・歩く	森田 喜久男	32
愛媛県西部の肱川における河岸段丘の巡検案内	柳田 誠	36
四万十川、呼応する風景－地形と暮らし、時代が織りなす川沿いの景観－	川村 慎也	40
豊前街道の文化遺産を訪ねて	宮崎 歩	44

新刊地形図案内 48 / 今月新刊の見どころ！・日本地図センター便り 49  
 編集後記・次号予告 50 / 地図書庫 52

《表紙》

本誌特集の一部を抜粋して転載したもので、縮小・部分表示をしています。

月刊 **地図中心**

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

**1冊 880円** (税込)

**地図倶楽部**

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読 1年間 **12冊**

**プレミアム会員**

**6,600円** (税・送料込)

**プレミアム会員(シニア) 満65歳以上**

**5,500円** (税・送料込)

◆電子版のみのご購読会員(紙版は送付されません)

地図倶楽部会員	会費(税込)	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員(シニア)	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局

map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

# 地図地理検定のテキスト・過去問集



**ちずけんでまなぶ地図と地理** A4版102ページ  
1,980円(税込)

出題頻度の高いテーマを選抜。豊富な図表や写真で地図と地理を学べる、地図地理検定公式テキストです。過去問と解説も掲載！

商品情報はこちら



## 地図地理検定過去問集

基礎・専門にそれぞれ対応しています。

### 地図地理検定事務局

(一財)日本地図センター 文化事業部内



### 第45回 地図地理検定 申込受付中

検定実施日 **6月21日(日)** 申込締切 **6月上旬**



# 巡検と地図

くぼ すみこ  
久保 純子

地理学や地学の教育における野外実習、学会や研究会における現地討論などを「巡検」と呼び、日本地理学会や日本地質学会などでは年次大会の際などに毎回「巡検」を実施しています。

この「巡検」という語は、かつて幕府の役人が各地を巡視していたことを指すようで、さらに『最新地理学用語辞典(改訂版)』(浮田編 2003)では「一説には、この用語は日本の旧軍隊用語に由来するので使用を避けるべきだとされる」とあり、この語を使わない先生方もいます。また、海上自衛隊では当番が保安状況や火の元確認等をする日課を「巡検」というそうです(防衛省ウエブサイトによる)。

筆者が高校生の時、東京都心部で地理の野外実習、神奈川県城ヶ島で地学の野外実習があり、今思えばどちらもかなり本格的な「巡検」でした。

大学のときの地理学の授業では

「地理学実習」で巡検がありました。自然地理学分野では青森県小川原湖<sup>おがわら</sup>や群馬県沼田の段丘地形の見学、人文地理学分野では新潟県津南町<sup>つなん</sup>で農家の聞き取りをした記憶があります。小川原湖や沼田では空中写真判読で地形分類図を作成し、現地を確認するというもので、そのときの地形図がまだ家にありました(図1)。

時は流れて、早稲田大学教育学部で筆者が担当する「地理学研究法」や「地理学演習」でも巡検を実施しています。春学期に2回(日帰り1回、1泊2日1回)、秋学期に1回(1泊2日)で、春学期は荒川・多摩川・相模川で、秋学期は利根川流域(本流・吾妻川<sup>あがつま</sup>・渡良瀬川)でのローテーションです。日帰り巡検は下流部の最寄り駅集合で徒歩、1泊2日はバス利用で中・上流をまわっています。

2024年度春の日帰り巡検は神奈川県相模原市で相模川の段丘地形が



図2 2024年6月の早大相模原巡検

メインで、首都圏のローカル線 JR 相模線の原当麻駅<sup>はらたいま</sup>集合、図2は駅前の段丘面上で読図をする学生たちです。2025年度春は埼玉県戸田市で荒川の彩湖周辺を歩きました。

日帰り巡検の際は必ず国土地理院の紙の地形図を持参することとしていますが、中・上流の場合は枚数が多くなり地形図も値段が高くなってきたので、やむを得ず重点エリアのみ購入するよう指定しています。その他は各自スマホで「地理院地図」や Google Map などになってきました。

ゼミの夏合宿(3泊4日)では卒論生のフィールドを中心に毎年違う場所へ行っています。かつては地形図を購入して巡検コースを記入し、4つ折りの2万5千分1地形図をハンドルの上に置きながら運転していました。カーナビが普及したもののカーナビの地図は地形もわからないし情報が少なすぎてつまらないと思っていたのですが、近年はタブレットで Google Map の衛星画像を表示させて、カーナビの上にかぶせて使っています(地理院地図のカーナビはないかな)。

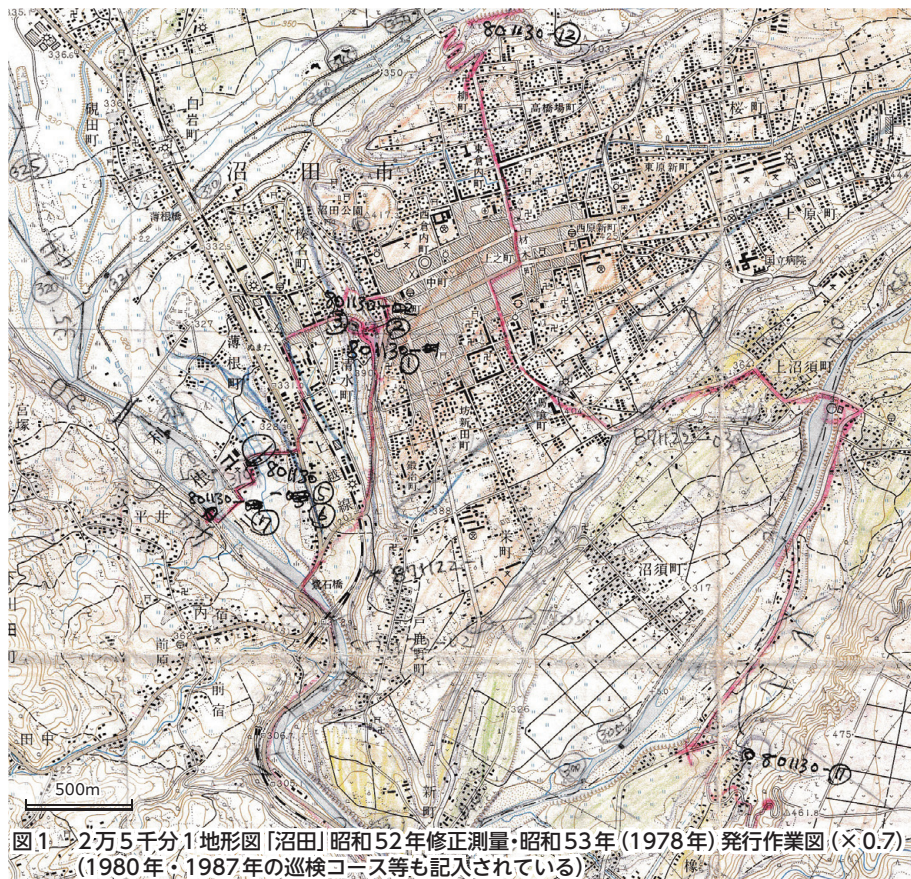


図1 2万5千分1地形図「沼田」昭和52年修正測量・昭和53年(1978年)発行作業図(×0.7)(1980年・1987年の巡検コース等も記入されている)

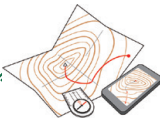
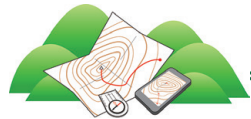
久保 純子



淡路島走行中

早稲田大学教育学部教授、自然地理学・地形学専攻。





# 仙台の街の立地と海岸環境

もくだい くにやす  
目代 邦康

## 仙台市の地形の概観

仙台市の地形は東から奥羽脊梁山脈の一部をなす船形連峰、青葉山などの丘陵地と台地、そして沿岸部の低地と並びます。丘陵地には仙台城跡があり、現在の市街地中心部は台地の上に広がります。そして、沿岸部の水田が広がる低地となります。この低地は2011年の東北地方太平洋沖地震で発生した津波により大きな被害を受けました。

今回は、こうした仙台各地の地形の特徴とともに、さまざまな地図から読み取れる、それぞれの場所の歴史、文化などを見てまわりたいと思います。

## 青葉山

仙台の街の玄関口は、仙台空港か、新幹線の仙台駅になるかと思えます。今回、仙台駅から出発したコースになります。仙台駅から地下鉄東西線に乗り、国際センター駅を目指します。国際センターに着く手

前で、地下鉄は地上に出ます。その下には広瀬川が流れています。広瀬川は、仙台の台地を刻んで流れ、その谷の地形は箱状になっています(図1)。崖には、白色の地層が見えます。その崖には、この地域の基盤となる凝灰岩の地層が現れています(写真1)。仙台の街の西側の脊梁山脈にあった火山(カルデラ)から、350万年前頃に、大規模火砕流が噴出し、それがこの地域を覆ったと考えられています。

国際センター駅で降りて、仙台駅の方を振り返ると、台地(段丘)の上に仙台市街地が広がっています。また、反対側を見ると、駅のある段丘面(仙台下町段丘)より一段高い、東北大川内キャンパスのある段丘面(仙台上町段丘)と、青葉山の丘陵地が広がります。目の前にみえる段丘だけでなく、この青葉山の丘陵地も、段丘が起源の地形です。古い時代の段丘が、時間が経って、隆起し侵食を受け、現在の形になりました。丘陵地の尾根には幅の広い緩やかな傾斜の斜面がありますが、

それは段丘面の名残です。そういった土地を利用して、仙台城本丸跡や東北大青葉山キャンパス、宮城教育大学のキャンパスが作られています(図1)。仙台城本丸は古い段丘面の平坦地を、二の丸・三の丸は、それより新しい下位の段丘面の平坦地を利用しています。さらに、仙台城はその東側を流れる箱形の谷の広瀬川と、南側を流れる竜の口溪谷を堀として使っていました。自然の地形をうまく利用した城といえます。

## 沿岸部の農村景観

東西線に乗って、海岸方面に向かいます。東側の終点の荒井駅で降り



写真1 広瀬川河岸(仙台西公園下)の露頭 (2025年6月撮影)



図1 青葉山の地形(左: 1/25000「仙台西北部」昭21修正、「仙台西南部」昭21修正 右: 地理院地図・2026年3月取得)



編集後記

「巡検」という語は、もっぱら地理・地学・歴史などの学術的な範疇で使われています。大学の各講座や学会の企画などとして行われる巡検は、各分野の研究者にとって興味深く楽しい時間であり、知見をシェアしコラボする貴重な体験であり、各研究対象の魅力が詰まっています。そのように魅力ある「巡検」の単語も内容もより一般的かつ日常的に用いられるようになってほしいと常々思っていました。本号で「巡検」の魅力が伝わっておりますでしょうか。

最後に一つ、プチ巡検のコースをご紹介します。東京メトロ国会議事堂前駅と虎ノ門駅の間に、江戸城外堀と葵の滝（溜池の吐口）の痕跡を辿ることができます。

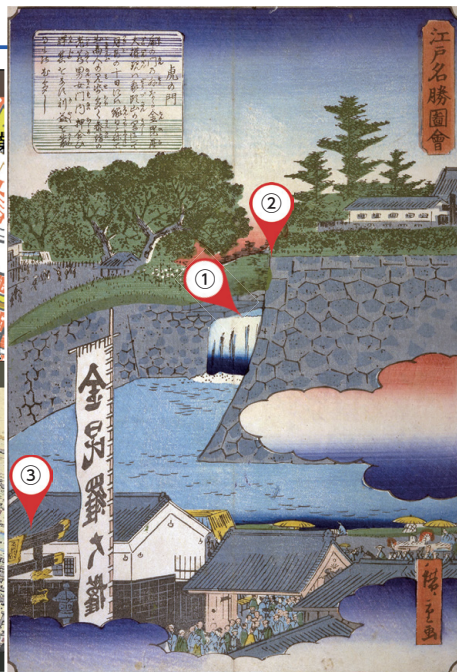
江戸名勝図「虎の門」には、葵の滝①と外堀の角石②、虎ノ門金刀比羅宮銅鳥居③が描かれています。葵の滝は、段彩陰影図を見ると、低地から一段高い位置にあります。つまり溜池は、地形のアップダウンを利用して堰き止めた人工の池



東京時層地図 for iPad

だということがわかります。江戸名勝図「虎の門」に描かれた角石②と銅鳥居③は、現在でも見ることができます。江戸と現在を地形がつなぐ時層巡検へ是非！

（編集長・小林政能）



②江戸城外堀跡 角石



③虎ノ門金刀比羅宮 銅鳥居

次号予告 2026年5月 通巻644号

毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

地図中心

特集

都留市—富士の湧水と溪流・富士の麓の小さな城下町—

山梨県東部・富士山の麓に位置する都留市。古い城下絵図で読み解く往時の景観、村絵図が伝える集落の暮らし。水力発電で京浜を支えた近代史、そして古代・田原郷から学園都市へ。

新旧の文化が共存し、富士の湧水と溪流の街・都留市の魅力を地図でお届けします！



バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています！ 03-3485-5417(事務局)

地図中心 2026-4 通巻643号

発行 2026年4月10日  
 発行所 一般財団法人日本地図センター  
 〒153-8522  
 東京都目黒区青葉台4-9-6  
 電話 03-3485-8125  
 FAX 03-3485-5593  
 (月刊「地図中心」編集室)  
 メール chushin@jmc.or.jp  
 URL https://www.jmc.or.jp  
 ©一般財団法人日本地図センター  
 定価 880円(税込)  
 印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。



# 地図地理検定

地理総合

「ちずけん」で地図を楽しく読み・使う力を身につけよう!

2026年 **6月21日** 日

申込締切：6月上旬 (詳細はウェブサイト)

受検料を改定しました

(第45回~)

詳細はウェブサイトをご確認ください

地図大使  
石原良純さん



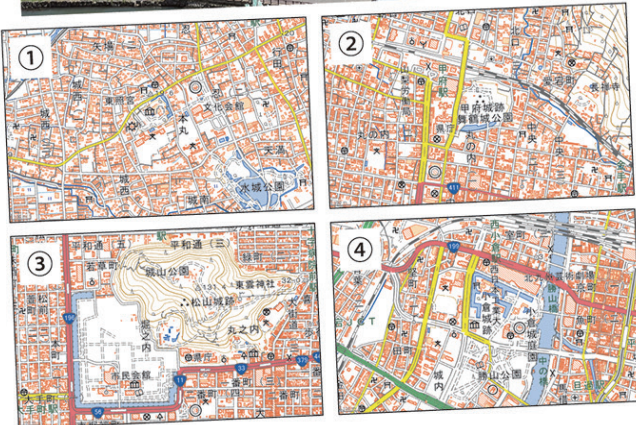
地図地理検定  
私も推薦します!

等高線や地図記号の意味を知れば、地図に描き込まれた無限の情報が理解できます。

過去問に挑戦!

次の写真は、ある城跡から市内を眺望したものです。写真右側のガラス張りの建物は市役所です。この写真を撮影した城跡が含まれる地理院地図を、後の①~④のうちから1つ選びなさい。なお、写真は正午ごろに撮影したものです。

(第42回 基礎・正解率85.5%)



主催

(一財) 日本地図センター  
(公財) 国土地理協会

後援

国土交通省国土地理院ほか

